



管内幼児教育推進研修会



10月30日(木)に口丹波勤労者福祉会館にて、管内の幼稚園・保育所(園)・こども園長、行政担当者など39名の参加の中、管内幼児教育推進研修会を開催しました。

この研修会は、幼児教育の質の向上と子ども達の健やかな成長を願い、管内の幼児教育施設長が一堂に会し、交流・協議を通して研修を深めることで、幼児教育施設の連携の一層の推進を図ることを目的に行っています。

管内の児童・生徒の状況 育ちと学びをつなぐ

★参加者の感想より



★「幼児期の学びをどのようにつなげていくか」日々悩んでいる課題です。

実践発表「とことん遊んで見つけよう!～楽しい!から深まる遊びと学び～語り合い、学び合い、支え合う保育者を目指して…」

子ども達一人一人の姿から必要な環境を見取り、職員間で話し合いながら異年齢保育に挑戦された園部幼稚園の実践を発表していただきました。異年齢保育に取り組む中で見えてきた子ども達の成長や、保護者の変容などをお話していただくことで、「子どものために何ができるか」を見つめ直すきっかけをいただきました。



南丹市立園部幼稚園
西岡 典子 園長

★子どものよりよい環境をつくるために、異年齢でのクラス運営にチャレンジされ、実践からの学びを更なるクラスづくりにつなげていかれたこと、素晴らしいことだと思います。

★園により特色はいろいろあるが、根幹は共通であることを再認識した。子どもだけではなく、家庭ともしっかりと向き合えばならない。園からのお便り等の発信の重要性も感じた。

★子どもに合わせて環境をつくっていくことの大切さを改めて感じました。

講演「幼児教育の未来～公私を越えて共に歩む～」

お二人の京都府架け橋期コーディネーターから、子ども達の未来のために大切にしたい保育・教育について御講演いただきました。お話から、どの幼児教育施設であってもぶれてはいけない根本の部分があることや、体験活動で得られる力があることを学びました。



京都府架け橋期コーディネーター
大橋 美智子先生

★学校生活を共にすることになる子ども達のために、公私を越えたつながり、保育・教育観の共有は実に重要なことであると感じました。子ども達の未来のために、私たち大人がつながりを深めていきたいと切に願います。

★普段の生活体験が子ども達の遊びにつながっていくという事例がとても印象に残りました。

★子ども達の見とり方や大切なこと、具体的に教えていただき、学びが深まりました。

★次期学習指導要領の方向性を踏まえて、さらに直接的、具体的に関わる体験の充実を意識した保育を実践していきます。

グループ交流・協議

★公私関係なく、つながりがもてた有意義な時間になりました。

★他園の先生と同じように悩んでいることを共有できて、心強くも楽しくもあり、良い時間となりました。

★交流では、他市でされている“環境見合いっこ週間”の実践を聞き、なんだかすぐに取り組みそうだと感じました。

★みんな同じように、どの施設の大人も「子どもにとってどうなのか」を考えているのだから、今日のように広く交流していくことが大切だと感じました。



☆未来へつなぐ架け橋研修会を2月12日に開催予定です。円滑な幼小接続に向けて小学校の先生方と共に学びます。